

教如上人四百回忌法要のご案内



教如上人寿像（五村別院蔵）

東本願寺創立の祖。1558年に第11世顕如上人の長男として誕生。10年間にもおよぶ「石山合戦」では、本願寺を死守しようとする僧侶・門徒らの思いに共感し織田信長と徹底抗戦する。

顕如上人の死後に本願寺住職となるが、豊臣秀吉の命令により弟の准如にその職を譲ることとなる。隠退してからは「正信偈」「和讃」「御文」を開版するなど、上人を支持する門徒に対し独自の教化を進めた。徳川家康から京都東六条の土地の寄進を受け東本願寺を創立。

以後、教化拠点としての御坊を多く創立するなど、現在の大谷派宗門の礎となる体制を確立。1614年に57歳で示寂。

本年は、第12代教如上人（1558年～1614年）の四百回忌をお迎えします。真宗本廟や上人と深い関わりのある長浜教区においてもいろいろな取り組みがなされます。お誘い合わせでお参りくださるようご案内申し上げます。

【真宗本廟（東本願寺）】

- * 4月2日（火）14：30 教如上人四百回忌法要初逮夜（音楽法要）
- ～4月4日（木）9：00 参堂列（縁儀）10：30 結願日中

【長浜教区教如上人講座】

- ◆講師 太田浩司氏（長浜城歴史博物館学芸員）
- * 第1回 3月28日（水） 「教如上人と湖北の寺院・門徒」
- * 第2回 5月22日（水） 「教如上人書状を読む」
- * 第3回 7月24日（水） 「五村別院の建立と教如上人」
- * 第4回 9月25日（水） 「教如上人像と廻り仏」
- ※時間 午後2時から4時まで ※参加費 500円
- ※会場はいずれも五村別院（旧虎姫町）

お寺の掲示板

かくしように
覚勝寺 (高月町西阿閉)

今回は、高月町西阿閉の覺勝寺様を訪問しました。西阿閉は、山本山の東側にあり、田んぼに囲まれた約一二〇戸の集落で当寺は集落のほぼ真ん中にあります。正面の左側に掲示板があり『心得たと思は心得ぬなり、心得ぬと思は、こころ得たるなり』という蓮如上人のお言葉が書かれてあります。東野裕賢住職は、月に一回掲示されるので、その内容は「心得たと思は心得ていないことで、自分はこんなもんである、まだまだ心得ていないと思っている人こそ自分を見つめ確かめている人である。」と、話して下さいました。

ひがしのゆうけん



西阿閉は、私たちの宗派のお寺が二ヶ寺あり、そのお寺が隣どうし、ということとは珍しいとのことでした。また、集落の主要な道が村の真ん中を通っていて、こどもやお年寄りの方々も、この掲示板を良く目にしていただいている。ともお話していただきました。皆さんも一度『覺勝寺』様にお参りされ掲示板のお言葉に触れたらと思います。

(取材・広報委員)

『お彼岸にうつら』

彼岸とは、ただ単に「暑さ寒さも彼岸まで」と言うような時節(季節)の名ではなく、仏教の原語では「パーラミタ」に彼岸・度彼岸の意をあらわしています。すなわち阿弥陀仏の浄土に生まれたいと願うことを意味することから、彼岸会といわれるようになりました。もつと言えば、信なきものが法を聞いて信心の彼岸に至る(迷いの生死の世界から、さとり彼岸に至る)ということ、人間生活のまことと意義をしめすものであります。四季ゆたかな我が国において、昼夜の長さが同じになる、春・秋二度の変わり目のこの日を中心にした一週間を、言わば、「人間回復週間」にしてきたわれらが先祖の智慧に、敬服せずにはられません。

そして今一つ、彼岸会の大切な意味は、向こう岸のみをあこがれているのではなく、こちらの岸、つまり、私と、私が生きているこの世界とを直視することに重点がおかれていたことです。彼岸のお中日は、お墓参りの日・ご先祖を供養する日、だから休日なのだ決めていたとしたら、大間違いといわなければなりません。お墓は、私と先祖とともに、人生の道しるべとしての仏法を確かめさせていただくところです。

お彼岸は、私自身のための「人間回復週間」といふべきです。善導大師は『観経疏』に「念佛して西方往生の願行をなす春秋の二節を取る」というお言葉もありまして、特に仏法聴聞に励む時節としたことは意義のあることとあります。ご家族揃ってお参りいたしましょう。

(広報委員 秦)

敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

藤川 良様 (77歳)

(高月町東物部前證光寺坊守)

平成25年1月2日命終



子ども花まつり



24組・14組 合同

賤ヶ岳ウォークラリー

今年も14組のみんなとウォークラリーに行きます！

昔々は戦国武将が登った賤ヶ岳。今度はみんなで登ってみよう☆

スタートは誓海寺さん（大音）から。さてさて何があるのでしょうか？

お楽しみに♪



4月20日（土曜日）



午前10時から

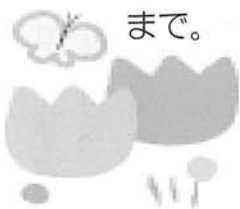
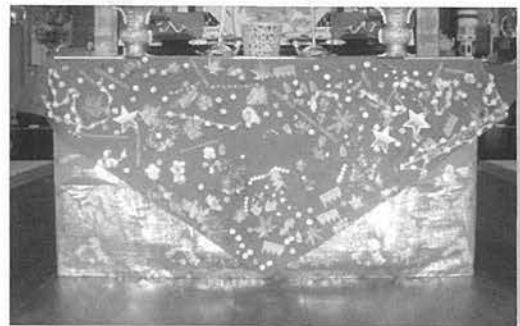
詳細や参加ご希望の方はおてつぎのお寺さんまで

組内お寺様へ

手作り打敷貸し出し中！

昨年11月に行った「24組子ども報恩講」にて子ども達と作ったものです。リボン・毛糸などで装飾されている可愛い打敷です。フック式なので華瓶等のお飾りを下ろさずにお荘厳できます。

問い合わせは藤谷（明楽寺 82-2026）まで。



《御坊さん人生講座》

『東日本大震災から私が問われていること』

3月11日(月)『受ける日本人 繋がる日本人—
いま世界に伝えたい受信力』

講師 ジェフ・パークランド氏(京都外国語大学教授)

4月2日(火)『知識が心をしなやかにする』

講師 神野郁夫氏(京都大学大学院教授)

※時間 19時～20時30分

※会場 長浜別院大通寺本堂・受講料1回500円

※お問い合わせ 長浜教務所(0749-62-0737)

《しんらん講座》

『歎異抄に聞く』

講師 一楽 真先生(大谷大学教授)

期日 3月4日(月)

4月8日(月)

時間 14時～16時

会場 長浜別院大通寺

受講料 1回500円

各寺の法座のご案内

寺院	法座名	期日	法話者
圓行寺(西柳野)	永代経	3月9日(土) 午前・午後	秦 信映氏
梅龍寺(磯野)	永代経	3月31日(日) 午前・午後	住職
本宗寺(磯野)	教如上人五日寄講	3月3日(日) 9時30分	加田岡隆昭氏
猶存寺(布施)	永代経	4月14日(日) 午前9:30	小堀誓勝氏
圓常寺(千田)	永代経	3月10日(日) 10時・13時	井口光俊氏
来入寺(千田)	永代経	4月29日(祭) 10時・13時	秦 信映氏
明楽寺(木之本)	永代経	4月11日(木)～12日(金)	藤井滉丸氏
明德寺(黒田)	永代敬	3月16日(土) 10時・13時	堀澤俊行氏
誓海寺(大音)	永代経	3月3日(日) 10時・13時30分	今井良観氏
明源寺(今市)	永代経	4月7日(日) 10時・13時	横山義淳氏

長浜別院彼岸会法話

3月18日(月) 三原 了雲氏(22組・来現寺)

19日(火) 末信 正寛氏(23組・徳恩寺)

20日(水) 藤本 勝氏(敦賀組・高雲寺)

五村別院彼岸会法話

3月21日(木) 堀澤 俊行氏(13組・念願寺)

22日(金) 加田岡隆昭氏(23組・圓長寺)

23日(土) 藤 知行氏(17組・金蓮寺)

真宗講座のご案内

日時・四月二十八日(日) 午後七時

会場・明德寺(木之本町黒田)

講師・古田和弘氏(九州大谷短大名誉学長)

講題・「正信偈に学ぶ」

二十四組寺族部会では、来る四月二十八日に古田和弘先生をお迎えし、「正信偈に学ぶ」をテーマに研修会を開催致します。昨年につづいて正信偈の内容を詳しく学ばせていただく企画です。住職・寺族はもちろんのこと、広く門徒の方にもご出席していただきたく、ご案内申し上げます。

【先生のプロフィール】

一九三五年【昭和十年】京都市生まれ。大谷大学教授を経て、九州大谷短期大学前学長、現在九州大谷短期大学名誉学長。専攻は仏教学(特に中国仏教)

【著書】『正信偈の教え』『宗祖親鸞聖人に遇う』『大経に学ぶ』など多数

組婦人会代表者研修会

日時・三月二十四日(日)

午後一時三十分～三時三十分

会場・了覚寺(高月町熊野)

講師・美濃部俊裕氏